



子ども大学かわごえの使命




平成28年2月9日


NPO法人子ども大学かわごえ
理事長 酒井一郎

一に教育、二に教育、三に教育

- キャッチアップ型教育
- 模倣・暗記・つめこみ
- 失われた20年



● 教育改革



- 先進国型教育
- 創造と思考中心
- 未来志向的教育



教育改革の一案

- **ドイツの子ども大学**
 - 2002年に誕生
- **子どもが感じる疑問**
 - 根源的「なぜ？」
 - 自然現象
 - 社会現象など
- **大学教授**
 - 知的好奇心に応えて
 - 大学レベルの課題を
 - やさしく教え
 - 学問する楽しさを
 - 学ばせる





子ども大学かわごえ(CUK)

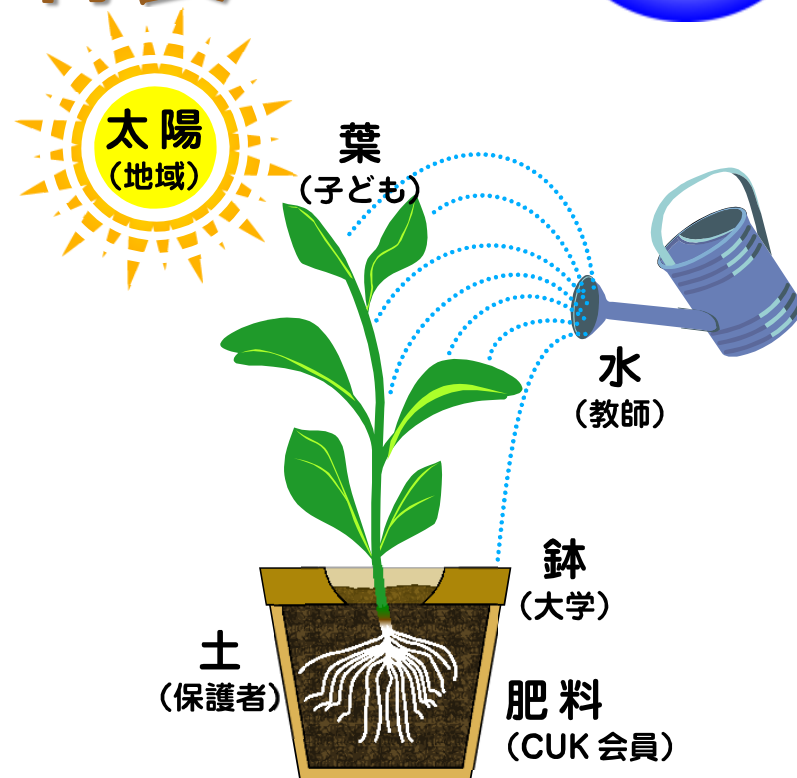
- 学生
 - 川越や鶴ヶ島近郊の小学生
 - 4年～6年生を対象
- 教員
 - 大学教授
東京国際大学、尚美学園大学、東洋大学、
その他の大学の教授
 - 一流実務専門家
- 教室
 - 川越の3大学
 - 大学レベルの課題
 - やさしく教え、学ぶ楽しさを体験

2008年12月
川越で誕生



子ども大学かわごえの特長

- ①未来志向型考える教育
- ②わが国初の子ども大学
- ③川越市民がつくった
「**市民立**」大学、「**地域の申し子**」
- ④教育の3本柱
「はてな学」 ≡ 大学教育
「生き方学」 ≡ 社会教育
「ふるさと学」 ≡ 家庭教育



子ども大学かわごえ (CUK) は
みんなで子どもを育てるしくみです。



子ども大学かわごえを支えるスタッフ

- 特別理事 的川泰宣 (JAXA名誉教授)
- 理事長 酒井一郎 (早稲田大学特別研究員)
- 学長 遠藤克弥 (東京国際大学副学長)
- 理事 望月 修 (東洋大学工学部教授)
- 理事 矢倉泰久 (教育ジャーナリスト)
- 理事 桑原恒久 (蓮馨寺住職)
- 理事 小谷野和博 (川越商工会議所副会頭)
- 役員 & 会員 68名
全員がボランティアで**各自専門技術を駆使**
紹介誌、校歌、校旗、WEB、ポスターなど



授業活動

1. 正規授業

月に1回土曜日の午後2～4時

50分授業2コマ

第7期末まで34回の授業実施

のべ出席者数子ども 2849人 保護者 1511人



2. 特別授業

「なぜ亀の甲は6角形か？」のワークショップ

「ものづくり教室」など11回実施、1402人の子どもが参加。

「ミニかわごえ」こどものまち学園祭では1400人の子どもが参加。

子ども大学かわごえ(授業風景)



子ども大学かわごえ(教授陣)



子ども大学かわごえ(特別授業)

ミニかわごえ

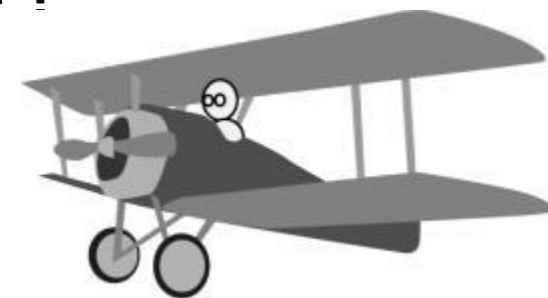


ものづくり教室



実施した正規授業のタイトル

- なぜ飛行機は空を飛ぶことができるか？
- なぜ人の命を奪ってはいけないか？
- なぜ多数決で決めるのか？
- なぜハチの巣は六角形か？
- なぜ世界地図は同じではないのか？
- 異文化コミュニケーションを楽しもう！
- オリンピック聖火ランナーのヒミツ？
- おカネはどこから来てどこへ行くのか？
- なぜ電車の席はすみから埋まるのか？
- なぜ世界には豊かな国と貧しい国があるのか？



飛行機授業のクイズ

質問：なぜコンドルの頭は禿げているか？

- 回答：①風を切って飛ぶのに気持がよいから
②格好がよいから
③頭を洗うのが面倒だから
④体のバランスを取るのによいから
⑤髪の毛が目に入らないから



子ども(学生)の授業感想

- 学校では聞けない話がたくさん、とても面白い。
- 新しいことを一杯知った。
- もっといろいろな話を聞きたい。
- この世界は、不思議で一杯なんだなあ・・・。
- あたりまえのことはない！と思った。
- 教室の雰囲気は大学らしくていい気分だった。



保護者の授業感想

- 小学校では教えない新しいことが沢山出てきて、子どもが後で辞書やインターネットで調べるようになった。
- 授業を受けた結果、何事に対してもよく考え、質問するようになった。
- 自分の興味のないことには関わろうとしなかったが、何事にも食いついてみるという姿勢が出てきた。
- 授業で一緒に聞いたことを後で親子で話し合うのが習慣になった。



特別授業

- 「ものづくり教室」
- 「ミニかわごえ」こどものまち
- パソコンを分解して学ぶ「環境学習」
- 「エコプロダクツ」環境展示会訪問
- JAXA筑波宇宙センター訪問
- トトロの森訪問
- 廃棄物処理施設 石坂産業見学



ものづくり教室(1)

- 授業

教室 埼玉県川越工業高等学校

教師 同川越工業高校生徒

学生 子ども大学かわごえ学生

- プログラム

機械科 金属飛行機の製作

電気科 LEDランプの製作

化学科 スライムづくり

建築科 蔵づくり模型の組み立て

デザイン科 エコバッグ製作



ものづくり教室(2)

感想

学生
(小学生)

楽しかった。家でも作ってみたい。
金属で飛行機を作ってうれしかった。
はんだ付けが印象に残った。
お姉さんたちがいっぱいほめてくれてうれしかった。



生徒
(高校生)

子どもたちの作っている姿がかわいかった。
教えることの大変さを知りました。
小学生の発想が面白くて勉強になりました。

保護者

年々生徒さんの教え方が上手になっている。

学園祭「ミニかわごえ」こどものまち

- 子ども大学「生き方学」の社会体験版
- 子ども(小学生~高校生)が主役になって自立的にまちづくり
- 「労働と消費」の**職業活動体験**をする
- 大人は舞台づくりで、子どもの活動を支援
- ドイツ「ミニ・ミュンヘン」こどものまちの理念と方法を参考に開催



学園祭「ミニかわごえ2014」

- 開催日時 27年3月14日(土)+15日(日)
午前10時～午後4時
- 会場 川越市内蓮馨寺境内
- こども市民 小学校生から高校生
- まちの構成 ものづくり区+公共区+消費区 合計約70店舗
- 入場料 600円/日
- 地域通貨 まちの中では“コエド”のみ流通
1時間の労働の報酬 = 10コエド
10コエドに対する税金 = 2コエド



「ミニかわごえ」の成果

- 来場者

子どもー小学生 1400人／2日

中高生 150人／2日

おとな(含大学生) 930人／2日

合計 2480人／2日

- まちづくり協力者

ジュニアスタッフ 70人

大人サポーター100人





平成27年度授業計画

■正規授業

6月27日	世界の学校と子どもたち	子ども大学かわごえ 遠藤克弥学長	東京国際大学
7月25日	働くということ	東京大学 玄田有史教授	尚美学園大学
9月19日	農地の中に広がる宇宙	尚美学園大学 横山和成教授	尚美学園大学
10月24日	なぜ森は人間にとって必要か？	東洋大学 小瀬博之教授	東洋大学
11月21日	憲法と私たちの暮らし	東京工業大学 池上彰教授	川越南文化会館
12月19日	21世紀における宗教の意味☆	蓮馨寺 糸原恒久住職	蓮馨寺講堂
1月23日	2020オリパラの主役は君だ！	東京国際大学 木原慎介専任講師	東京国際大学
2月27日	小惑星探査機はやぶさ2	JXAはやぶさ2 吉川真ミッションマネージャ	尚美学園大学



CUK事業活動の推移

年度	収支合計	伸び率%	学生数	伸び率%	会員数	伸び率%
20	1, 230	—	116	—	15	—
22	3, 023	64	172	72	55	57
23	3, 749	24	183	6	57	4
24	6, 482	73	184	1	62	11
26	9, 181	14	186	1	68	11

CUK事業活動(NPO大賞)

平成23年1月



埼玉県NPO大賞2010 公開プレゼンテーションの対象団体 (50音順)

科学映像館支える会

(デジタル化により甦らせた昭和の科学映像の配信)

子ども大学かわごえ

(子どもの知的好奇心に応える人生の夢を育む教育)

彩SITA

(シニア向け地域密着型のパソコン講習)

彩星学舎

(不登校の子どもや青年のフリースクール)

秩父の環境を考える会

(森林、河川、里山再生などの実践)

聴導犬普及協会

(聴導犬の育成と普及)

ときがわ山里文化研究所

(都市と山村の交流による山里文化の再生、継承)

ほっとポット

(ホームレスや生活困窮者への支援)

子ども大学かわごえは優秀賞を受賞！

博報賞



2012年9月28日

博報財団より博報賞（教育活性化部門）を
受賞しました。

博報賞とは、児童・生徒の「豊かな人間性育成」には子どもたちと日々直接向き合う教育実践者の役割が非常に大きく、児童・生徒に対する日常の教育現場で貢献・努力されている、学校・団体・教育実践者を顕彰することを通して、児童教育の現場を活性化させ、支援することを目的としています。

平成24年度地域づくり総務大臣表彰



全国各地で、それぞれの地域をより良くしようと頑張る団体、個人を表彰することにより、地域づくりへの情熱や想いを高め、豊かで活力ある地域社会の構築を図ることを目的としている。

表彰理由

地域の複数の大学の教員や専門家と連携して小学生（4学年から6学年）を対象に創発的な授業を行っている。子どもたちに新しい知的世界への目を開かせ、興味を喚起し将来の夢を動機づけ・気づきを与え、知的好奇心を刺激することを目的としている。

公益財団法人ソロプチミスト日本財団 「社会ボランティア賞」



平成25年7月ソロプチミスト日本財団から受賞、下記のような評価を得た。

川越市および鶴ヶ島市を中心とする地域の小学4年生から6年生を対象に大学レベルの授業を行っている。

「はてな学」、「生き方学」、「ふるさと学」を通して、**子どもたちの全人格的育成**に努めている。



平成25年度

あしたのまち・くらしづくり活動賞

- **彩の国コミュニティ協議会**

(会長上田清司埼玉県知事)から、CUKのあしたのまちやくらしづくりに関する積極的な活動を評価して優秀賞を受賞した。

- **公益財団法人 あしたの日本を創る協会**

各都道府県新生活運動等協議会、読売新聞東京本社、NHK共催

本協会から振興奨励賞を受賞。



今後の展開

量から質への展開

1. 知育と
全人格的
教育

2. 生涯
学習と親
子共学

3. 財政
のスリム
化

4. NPO
経営の効
率化

5. 子ども
大学の普
及



1. 知育と全人格的教育

教育の目的: 全人格的教育

「はてな学」 ≡ 学校教育
理論学習の正規授業・講義

「生き方学」 ≡ 社会教育
ものづくり教室、ミニかわごえ

「ふるさと学」 ≡ 家庭教育
親子共学、保護者の生涯学習

2. 生涯学習と親子共学

- 教室における親子受講・共学
- 親子学セミナー
- 親子学研究会
- 講師との懇談会



pixta.jp - 11291176

3. 財政のスリム化

- 財政(収支合計)の推移

平成22年 3,023千円

平成23年 3,749千円 (① 1,120千円)

平成24年 6,482千円 (② 3,082千円)

平成26年 9,181千円 (③ 5,971千円)

平成28年 3,000千円

注:①AGS社寄付金&カメイ財団助成金

②・③ボーイング社理科支援助成金



CUK(NPO)の財政

- 授業料収入 1,080千円
@6,000円x180人
- 収支合計 3,000千円
- 収入差額(200万円)の補てん
収入 寄付金、賛助会費、事業収入
経費 会員や講師の無償サービスによる節約
- CUK教育サービス
営業ベースで試算したら、最低5万円~6万円
人件費 会員、講師
施設費 家賃、教室借用料



4. NPO経営の効率化

- **量から質への転換**

助成金経営からの脱却

- **NPOにおける全員経営の必要性**

年間 @6000円の授業料で

その何倍もの教育サービスを提供できる理由

- ・寄付金、助成金、会費
- ・会員と講師の無償サービス*

* 保護者180人全員の協力が不可欠、

このため保護者会員制度を制定・実施。





5. 子ども大学普及活動

わが国におけるCUK型子ども大学の普及と
教育改革に努める

- ①埼玉県内に40校以上の子ども大学が開校
- ②鎌倉、群馬、横浜でも子ども大学が活躍
- ③冊子発行等による宣伝・普及活動
- ④講演等を通じた積極的広報活動



最後に

子ども大学の卒業生から
将来ノーベル賞受賞者が
出ることを期待!!

